



192 月の荷車



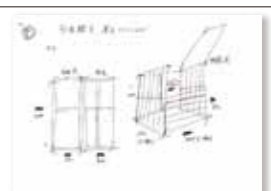
193 繋がる輪台 (つながるワケ)



194 日田杉



195 日田杉



196 日田格子屋台バージョン



197 ひとりじゃヤタイ



子ども杉コレ募集チラシ



子ども杉コレ作品審査の様子



子ども杉コレと

東日本被災地支援活動

今回の子ども杉コレ応募総数は297点。中には学校の課題として取り組んだケースもあり、多くの子どもたちの豊かなイメージが寄せられた。

作品はどれも自由な発想で考えた独創的なものばかり。杉コレの面白さは、平面のイメージを実物大の作品として具現化させる点にある。正直なところ、自由すぎるイメージは具現化させることが非常に難しい。

夢にあふれた豊かなイメージ

を具現化させる時点で陳腐なものにはいけない。かといってイメージにこだわると物理的な問題も出てくる。イメージを崩さずに具現化させるにはかなりの技術が必要である。

加えて今回は東日本支援事業として、野田村小学校の児童3

名の作品も加わることになった。この屋台は杉コレ終了後岩手県野田村に寄贈される予定である。

子どもの作品の制作担当として、作者である子どもたちが、再現された作品をはじめて目の当たりにした時の驚いた顔が楽しみである。

10分の1模型で最終選考会を目指す。

一次選考会で選ばれた作品は、平面から10分の1のサイズの立体に再現され二次選考会に臨んだ。立体化させることで、平面上では見えなかったいろいろな課題が浮かび上がる。

今回の模型作品は、全体的に精度が高く、細部にこだわり再現されていたり、実際に使った時のイメージを分かりやすくするように工夫が施されていたり、最終選考会への選出を目指した作者の情熱が感じられた。

韓国からの応募作品はこの時点でも数点選出されており、10分の1模型も海を越えて会場へと届けられた。

審査員も最終選考会に進む作品を選ぶのがとても難しかったようだ。

可能ならこれらの作品全てを実物大に再現して、最終選考会会場の若草通に展示し、作者も審査員もギャラリーや一般の見物客からも、皆思い思いに屋台を楽しんでほしいと思わせる作品ばかりであった。



100 大車輪ヤタイ  
大(だい)・コロ(こ)ー 人(ひと)×人(ひと)びったん



110 まちかどKitchen



111 やきにくパレード



119 宮崎花屋台



120 sugi ashiyu



122 仕舞える屋台



133 あしたからOK!!



085 Tree shop(ツリーショップ)



092 屋台骨



093 はしご酒



098 御神輿ヤタイ



024 SIT!そ〜っと..



026 ねばNEVER one parson



037 ノボルのヤタイ



074 タラコ



168 みんなでヤタイ  
〜本杉支え愛〜



170 ひとりぼっちじゃない  
ニューヨーク



177 Tawari



180 てーがみ



183 繋がってなきヤタイ!  
一屋台繋がる人も繋がる一



184 ジャバラDEボン



189 縁側屋台



135 どこでもヤタイ



137 木工品販売用屋台



142 とまり木Bar



158 結杉



160 ナガスギ



161 マトリョースギ



166 カラ・桶・ヤタイ